



御堂筋イルミ基金 3000万円を寄付 リバー産業

御堂筋の冬を彩る「御堂筋イルミネーション」に活用してもらおうと、不動産開発・販売を手がける「リバー産業」(河啓一社長)が、「御堂筋イルミネーション基金」に3千万円を寄付し、大阪市内のホテルで5日、河社長が松井一郎知事に目録を手渡した。

同社は府内を中心に、環境に配慮した分譲マンションなどを展開。今回の寄付は、大阪の街が「外国人も好きになり住んでみたいと思う街、国際都市として情緒・魅力ある街並みになってほしい」との思いからという。

目録を受け取った松井知事は感謝状を贈り、写真、「住みやすい大阪を作り、世界ナンバーワンの都市を目指したい」と述べた。河社長は「皆が心を一つに夢を持ち、オール大阪、オールジャパンになればハッピーになる」と話した。